

2025年(令和7年) 盆踊り 皆で踊って暑さを吹っ飛ばしましょう!

壬生川地区人口 6月末現在
(前月比)
男性 2,190人 (-7)
女性 2,336人 (-12)
(合計) 4,526人 (-19)
世帯数 2,236戸 (-2)

壬生川公民館だより 8月

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



ふる里づくり 盆踊り大会

今年も開催! 「ふる里づくり盆踊り大会」、踊って壬生川地区を大いに盛り上げましょう!
ご近所、ご家族、お誘い合わせ、ぜひご来場ください。

8月23日 土

壬生川小学校 体育館

※雨天決行

壬生川小学校 PTA バザー

午後 5 時 30 分 ~
盆踊り大会終了前まで

- ・バザーコーナー
(かき氷・フランクフルト
スーパーボール等)
- ・ゲームコーナー

※全て予定です。
お楽しみに!

熱中症予防のため、飲み物等、各自ご準備ください。

子ども広場

午後 6 時 ~ 6 時 45 分

- ・ゲームコーナー
(ガチャ・お菓子吊り他)
※一部有料・数に制限があります。
お早めに

- ・バザーコーナー (JA 周桑壬生川女性部)
(揚げパン・里芋コロッケ)
※無くなり次第終了

盆踊り大会

午後 7 時 ~

壬生川の魅力が詰まった歌詞
の「壬生川音頭」や、お馴染み
「炭坑節」を踊りましょう!

踊られた方には今年も
プレゼントが♪

お楽しみ抽選会

盆踊り終了後

今年度こそ豪華賞品を!
お楽しみに!

【8月のごみ収集日】 きちんと分別し、当日の朝8時までに決められた場所へ

- ◆古紙 (新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ)・・・6日(第1水曜日)
- ◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・13日(第2水曜日)

お気をつけください! 8月15日(金) もえるごみの収集は **お休み**です!

8月の主な行事予定

日	曜	行 事
2	土	休館日・放課後子ども教室 (ポッチャ)
3	日	休館日
4	月	夏休みお楽しみ教室 10:00~
9	土	休館日・放課後子ども教室 (モルック)
10	日	休館日
11	月	休館日 山の日
16	土	休館日
17	日	休館日
18	月	夏休みお楽しみ教室 10:00~
20	水	壬生川カフェ 10:30~
23	土	ふる里づくり盆踊り大会 (壬生川小学校) 子ども広場 18:00~ 盆踊り大会 19:00~
24	日	休館日
25	月	臨時休館日
28	木	壬生川地区人権・同和教育懇談会 (壬生川小学校) 10:00~
30	土	休館日・放課後子ども教室 (AGO であそぼ)
31	日	休館日

公民館からお知らせとお願い

- ・8月25日(月)は、臨時休館とさせていただきます。
- ・8月28日(木)午前中は、行事のため、公民館事務所を閉めます。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。よろしくお願いいたします。

「ニュースポーツ」を体験しよう!

ニュースポーツは、誰でも気軽にできるスポーツです。親子3世代が触れ合うよい機会にもなります。皆さんお誘い合わせの上、ぜひ遊びに来てください。もちろん、1人からでも参加OKです。

開催日時: 令和7年8月9日(土)19:00~21:00
(受付 18:30~)

場 所: 小松体育館 大競技場
種 目: モルック、スマイルボーリング
募集人数: 先着40名(小学生~一般)
募集締切: 8月6日(水)

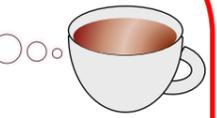
※募集人数に達しない場合は、当日まで申込み可
申込先: 本庁スポーツ健康課
または公民館(小松・石根)

準備物: 水筒・タオル・体育館シューズ
注意事項: 当日は運動のできる格好でご参加ください。事前に申込用紙にてお申し込みください。主催者がスポーツ保険に加入します。

主 催: 西条市スポーツ推進委員協議会小松支部
問 合 せ: 西条市スポーツ推進委員協議会事務局
TEL:0897-52-1255
FAX:0897-52-1294

講座・教室等のご案内

毎月第3水曜日は
『壬生川カフェ』に!



「壬生川カフェ(シニアカフェ)」を開催しています。ご家族の参加も可能です。予約の必要はありません。お気軽にお越しください。

- 日 時: 8月20日(水) 10時30分~11時30分
- 場 所: 壬生川公民館 1階 学習室3他
- 持参物: 水分補給用の飲み物
- 内 容: 脳トレ・レクリエーション等
- 問 合 せ: 西条市地域包括支援センター東予 TEL 66-5520 担当:武田



6月18日(水)のカフェは、様々な「脳トレ問題」にチャレンジ!
「肉じゃがの材料」を考える問いに、肉は、牛か豚か、人参や絹さやを入れるかなど、意見が飛び交い、「我が家のレシピ自慢大会」となりました。

令和7年度 壬生川地区人権・同和教育懇談会

6年生の先生が「電子黒板」などを使い、子どもたちと同じように授業を行います。エアコン完備の涼しい教室で、「人権に関する道徳の授業」を体験してみませんか。

日 時: 8月28日(木)10時00分~11時00分
場 所: 壬生川小学校6年教室 (運動場側校舎1階)

対象者: 壬生川地区住民・公民館利用者
内 容: 6年道徳「思いやり」について
申込メ切: 8月26日(火)
申込先: 壬生川公民館

TEL 64-2202



「壬生川放課後子ども教室」

『和の心』を学ぶ



6月21日(土)、茶道教室、普段と違う雰囲気、子どもたちも、ちょっぴり緊張気味。お辞儀の仕方や、座り方、立ち方など、お茶をいただく以外にも、たくさん教えていただきました。



6月28日(土)は、英語を楽しく学ぶ『AGOであそぼ』、アルファベットの名前と音を学びました。



▲英語のカードゲームに夢中

英語が初めての1年生も上級生に励まされ、頑張りました。



7月5日(土)、サッカーやポッチャで、元気いっぱい汗を流しました。



大会に向け、猛練習



7月12日(土)、ランプシェードを作りました。かっこよく完成した作品は、秋の「公民館文化祭」に出展予定です。



▲紙コップに、かわいい色の半紙や、おはながみを貼り付けていきます。



うえたはらみずまんまん
むらねむ
植田原水満満と村眠る
かいたい
解体を待つ鉄骨の酷暑かな
ゆうじゆうふだんなげ
優柔不断嘆きつるんとゼリー食む
しゅうまつ
週末に帰る子を待つ蛭汁
おき
沖で待つ客船ましろ二重虹
矢野 丸山 岡部 石原 稲井
悦子 英子 和代 宏子 卓機

ひうち句会 (順不同)

公民館サークル 元気に活動中!



演歌などをしっかりと歌われてます♪



『めだか』
毎月 第2・3木曜日
13:30~15:00



トランプの七並べも、独自のルールで「頭の体操のためにわざと難しくしてやりよんよ。」と、教えていただきました。意欲満々♪脱帽です。



『いきいきサロン遊々』
毎月 第2金曜日
13:00~16:00

黙とうのお願い

原爆死没者ならびに戦争で亡くなられた数多くの方々のご冥福と平和を祈念するための黙とうに、ご協力をお願いいたします。

- (1) 広島平和記念日 8月 6日(水) 午前 8時15分から1分間
- (2) ながさき平和の日 8月 9日(土) 午前11時 2分から1分間
- (3) 戦没者を追悼し平和を祈念する日 8月15日(金) 正午から1分間

～毎月10日は人権を考える日～

「学んだことを伝えていく」ことで差別をなくそう

3月末の今治市・西条市の山火事には、びっくりしました。火への恐怖を感じるとともに、自然への畏敬の念を感じずにはいられませんでした。自然を人間が変えることはできません。自然を人間がコントロールできるなんてことは、あり得ません。自然の前では、私たち人間は無力です。しかし、差別は人間が作り出すものです。だからこそ、私たちの力によってなくすることができると思っています。

人権問題について学習する機会は、以前に比べると多いと思います。正しく行動するためには、正しい知識を身につけなければなりません。何が正しいかを判断する力が必要です。広島で被爆された方から、こんな話を聞きました。原爆投下の捉え方は、日本とアメリカではずいぶん違うそうです。アメリカでは、早く戦争を終わらせるためには、原爆投下は必要なことであって、そんなに悪いことではないと子どもたち(高校生)は教わっているそうです。ところが、西条市からアメリカを訪問した、2歳の時に被爆した中学校の教師から、原爆投下の後の広島町の様子、人々の様子を聞いて、とってもびっくりしたそうです。翌年に西条市にやってきたそのうちの数名の高校生は、広島平和記念公園を訪れ、原爆の子の像に全校生徒で折り上げた千羽鶴を捧げたのです。本当のことを知り、自分に何ができるかを考え行動したのです。その翌年、アメリカを訪問したその教師は、今度は全校生徒の前で話をすることになったそうです。このことから、正しく理解することの大切さがよく分かります。

学習したことは、そのままにしておくと、やがて薄れていきます。学習したことを活かすにはどうすればいいのでしょうか。学んだことを、どなたかに伝えていくのはいかがでしょうか。身近なところを考えれば、まず家族が思い浮かびます。そこから、友達、知人、ご近所さんと広がっていくのではないのでしょうか。そうすることによって、自分の考えがはっきりとしてきますし、他の方の考え方を聞くことができ思考が広がります。話し合いになれば、より考えが深まっていきます。原爆投下の話を聞いたアメリカの高校生は、まさに伝え合ったのではないかと想像します。そして、自分で調べてみようという行動に移したのでしょうか。その結果、千羽鶴を折ることを全校生徒に提案し、それを西条の中学校・高校を訪問する代表者に託したのだと思います。

私は、学んだことを家族に伝えているだろうか。そもそも家族と話をしているだろうか。これではいけません。もっともっと家族と話し、家族のことを知らなければと反省します。家族の考え方を把握するとともに、自分の考えを分かってもらえるように話をしていかなければと思います。まずは、4月、5月、6月の「市民意識調査の報告から」を話題にしてみませんか。